



新春を迎えて

二松学舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊
平成26年1月20日発行
(第83号)

二松学舎大学父母会
(本部・事務局)
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞廣常吉先生書



父母会長
三輪 秀彰



明けましておめでとうございます。今年も父母会員の皆様、学生諸君、二松学舎大学教職員の皆様並びに二松学舎大学にとって最良の年でありますことをお祈り申し上げます。アベノミクスの効果か、長年に及ぶ景気の低迷から脱却への兆しが見えてきた昨今ですが、まだ社会全体に及ぼす影響には程遠い感があります。では今、社会はどんな人材を要求しているのでしょうか。

新教育基本法では教育目標が新設され、学校教育法もそれを受け、高等学校教育の中で、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと、また、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこととしています。大学においては深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させるとしていま

す。学生たちは大学で、社会人となる力を蓄えてこそ人生におけるチャンスをつかみ生かすことができるものと思います。

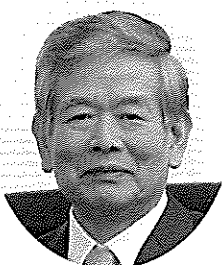
論語に「歳寒くしてしかる後に松柏の凋むに後るを知る」という孔子の言葉があります。春夏の季節には、樹木は全て葉を茂らせているので区別できないが、寒くなると常緑樹である松柏の存在が初めてわかる。転じて人間も困難な状況になつて、初めてその真価がはつきりするという意味です。二松学舎大学の学生は、日ごろより学ぶ術と、道徳的、応用的能力を身に付けてそれぞれの人生において、この松柏とならんことを願っております。

父母会の今年度事業計画も地区別懇談会を実施して、大学の現況や就職・学習状況等の詳細をお伝えできたいと思います。教育研究支援や就職指導支援、学生生活の活性化を図る各種課外活動助成など教育環境の整備充実、父母会報の発行なども計画通りに進捗しています。私たち父母の思いが子供たち学生に少なからず影響を与えられるよう、役員一同、大学とみなさまのパイプ役として全力で活動してまいりますので、今後ともよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

父母会会員の皆様にご挨拶を申し上げます。また、日頃よりお寄せいただいております本学の教育研究活動へのご理解とご支援に対し、心より御礼申し上げます。

「松 壽 千 年ノ翠」

一見何一つ変化のない松の緑も、芽生え、幼葉、成長と目立たない無数の小さな変化を繰り返しながら、風雪に耐えて「千年の翠」を保っています。



年頭所感 — 松壽千年翠 —

学校法人 二松学舎
理事長 水戸英則

創立百三十七年目を迎える二松学舎は、長い歴史に更に歳月を重ねながら、その輝きを保ち、更に輝いていくためには、役員、教職員が常に切磋琢磨し、努力をしていく必要があります。このために用意されたアクションプランの実行が切に求められるところであります。

さて、安倍政権は、「大学力は国力なり」との考え方の元、教育再生実行会議を設置、昨年初から精力的な議論を重ね、いじめ問題、道徳教育の必要性、教育委員会の有り方、入試も含む大学改革、6・3・3制の見直しの必要性等の提言を矢継ぎ早に出しました。なかでも大学改革は、少子化に伴う労働力の減少が、

わが国の国力を示すGDP（国内総生産）を将来減少させ、国力減衰の虞があり、今後労働力の大層を占める「大卒の量と質」を引き上げる必要があり、このための教育改革を強力に進めることを決めております。

大学改革については、約20年前にも、日米構造協議の一環として、日本の大学進学率が当時40%と、従来であれば中・高卒の学生が大学進学する時代になっていたにもかかわらず、

進学率10%、エリート教育時代の教育を展開しているわが国に対して、規制緩和要求の一環として、迫った経緯があります。これを受けて、平成3年に教育研究の高度化、高等教育の個性化や組織運営の活性化を骨子とする「大学設置基準の大綱化」が定められ、施行されました。しかしながら、公表内容が、大学の自主性を尊重するあまり、抽象的な内容となっていたため、その後一般教養

教育や同課程が、国公私殆どの大学で廃止され、初年次から専門教育を行う風潮となったわけですが。これに加えて、入試選抜も共通一次学力試験、センター入試と1点刻み、一発勝負の試験となり、選抜が偏差値に頼る形となりました。この結果、高校・中学教育が受験のための偏差値教育となり、この時期の生徒の教育に必要な幅広い教養、日本人としてのアイデンティティ、語学力やコ

ミュニケーション能力、優しさや思いやりといった感性を磨く教育が行われなくなつた経緯があります。今回の教育改革は、大学4年間の学士課程において、基礎・専門知識のほか語学に加え合理的な思考等の認知能力、社会的責任を担う倫理的、社会的能力、弛まない学修に裏付けられた想像力と構想力等文字通り「社会を生き抜く力、耐えて撥ね退ける力」を併せてつける教育といえ

ます。

グローバル化や知識基盤社会科、ICT化がスピードをもって展開されるの中で、大学は「自ら判断し、行動する、独立した家計を営める人材、さらにわが国の国力を支える中核層としての学生」を、育成する機能を強化することが求められます。

本学が、昨年末から始めているアクションプランの主要課題の一つに、大学教育の質的転換が

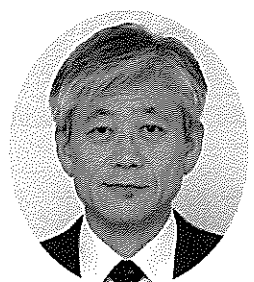
私ども役員、教職員は、本プラン実現のため、挙げて努力していく所存でありますので、父母会会員の皆様に対して、引き続きご支援、ご協力をお願いして、午年、新年のご挨拶といたします。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新しい年を迎え、父母会の皆さま並びにご家族のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

いま大学教育において「教育の質」保証ということが強く求められています。「教育の質」保証とは、「大学は社会から負託された使命を果すための取組みを行い、その成果を社会に公表しなければならぬ」というものです。ここで、大学が社会から負託された使命とは、突き詰めて言えば、大学の理念と目的に基づき、学生一人ひとりの能力を最大限に伸ばす教育をすること、世界を舞台に世界の人人々と協働し活躍できる人物を育成すること、さらには大学には多様な学生が入学しており、そのような学生のニーズに適切に応えることです。そしてそのような取組みが社会から評価されてはじめて、その大学の社会的存在価値が認められたことになるのです。

学校法人二松学舎の長期ビジョン『N2020Plan』とその具体的な行動計画を示したアクションプランは、平成二六年度はアクションプラン実行の二年目になります。



年頭所感 路行かざれば到らず 事為さざれば成らず

二松学舎大学
学 長 渡辺和則

さて、御承知のように大学は、教育・研究、組織・運営、施設・設備の総合的な状況について、七年以内ごとに、文部科学大臣の認証を受けた認証評価機関による認証評価を受けることが義務付けられています。

アクションプラン実行の初年度である平成二五年度、二松学舎大学は大学基準協会の認証評価を受けました。認証評価の正式な結果は、大学基準協会から本学へ三月に通知されることとなっておりますが、事前のや

本学に対しては「長所として特記すべき事項」として、現時点で主に以下のような事項が提示されています。○長期ビジョン『N2020Plan』の作成にあたっては幅広い関係者にアンケート等を実施し、その意見を取り入れていることは、社会の中の大学の在り方として適切なものであり、これを実行するために「アクションプラン」が作成され、着実に計画を実行し、教育研究活動の活性化・強化が図られている。○教員の

一方、改善すべきことも指摘されており、現時点で主に次のような事項が「努力課題」として提示されています。○教員の資質向上を図るための恒常的・組織的ファカルティ・ディベロップメント活動を行う。○一年間に履修登録できる単位数の上限は他の学年と同様に、卒業年次生に対しても設定する。○大学院では学位論文審査基準を明確に定め、あらかじめ学生に明示する。などです。

りとりにおいて、大学基準に「適合」しているとの内示がありました。

大学基準協会による評価結果には、三つの指摘事項（長所として特記すべき事項、「努力課題」、「改善報告」）が付されます。「努力課題」は、大学としての最低要件は満たしているものの、なお改善の余地があるという指摘です。「改善報告」は、大学としての最低要件（法令遵守含む）を満たしていないという指摘です。

養成を大学の目標として掲げ、教員養成の理念を定め、教職を志望する学生のために教職支援センターを設置し、きめ細かな学生支援を行っている。その成果として小学校・中学校・高等学校の教職につき学生が増加傾向にある。○教育研究の成果を社会に還元すべく、公開講座、講演会、シンポジウムなどや海外講座やネット授業などを通じた研究連携・交流を学内外で積極的に開催している。などです。

「改善報告」の指摘はありませんでした。先にも述べたとおり、大学基準協会からの正式な認証評価結果は、三月に通知されますが、「努力課題」として指摘された事項に対しては三年後までにその改善状況を同協会に報告することとなります。「適合」と判定されたとしても、改善のための施策を熟慮断行しなければなりません。「路行かざれば到らず、事為さざれば成らず」と言います。本当に大事なことは、「教育の質」を高め、国際的に通用する大学にしていこうとです。

本年も、父母会の皆さまのご支援とご協力をいただきながら、さらに本学の教育研究を向上させるため、教職員一同は職務に精励してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

2013 創縁祭

二松学舎大学
創縁祭 2013

テーマ
「Prism Cracker」

11/2(土) 10:00～17:00
11/3(日) 10:00～14:00

Twitterアカウントはこちら!
[@nisho_souen]

★芸術人ライブ
11/3(日)に開催!
★入試個別相談会
11/2(土) 10:00～15:00
3号館で開催!

本年度も**11月2日(土)・3日(日)**に、
二松学舎大学祭「創縁祭」

が開催されました。
父母会役員会では、
無料休憩所という形で毎年参加しています。
演武、伝統芸能、演劇、模擬店、ミスコンテストなど
学生たちのチームワークとアイデアの賜物を
ご覧ください。



創縁祭を終えて

学園祭実行委員会委員長

国際政治経済学科二年

岡本 新

平成二十五年十一月二日・三日の二日間、創縁祭2013を無事に開催することが出来ました。当日はやや天候も危ぶまれる中でしたが、二〇〇人を超える方々に来場して頂きました。本学父母会や松苓会、教職員の方々をはじめ、各クラブ団体、ゼミナールなど、多くの方々のお力添えを頂き成功を収めることが出来たと思っております。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今年の創縁祭のテーマは「Prism Cracker」でした。参加団体の多彩な特色ある発表をクラッカーがはじける際の色鮮やかな紙吹雪になぞらえ、そんな魅力あふれる場となるように演出したいという願いを込めました。当日はこのテーマのもと、参加団体の様々な個性溢れる発表を来場者の皆様に楽しんで頂けたのではないかと思っております。

来年も創縁祭がこの名の通りに、「縁を創る場」「新たな縁に出会える場」としてあり続けるよう、更なる発展を目指して参ります。そして今まで以上の学園祭を二松学舎一丸となって創り上げていければと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

奨学金受給者合格体験記

良き出会いに感謝して

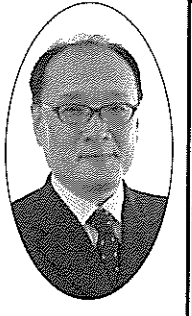
国文学科四年 越川莉加

私は千葉県中高共通国語の教員採用試験に合格し、採用校種は高校に決まりました。現時点では、教師になることの不安で一杯ですが、多くの方々に支えられてようやくスタートラインに立てることを本当に嬉しく思っております。大学生活を振り返ると、本当に多くの方々に支えられてきたことを実感します。この機会をお借りして、拙い文章ではありますが、お世話になった全ての方々に感謝の気持ちと、今後の決意を述べさせていだきたく思います。

二松学舎大学に入学して最も良かったことは、様々な専門分野で活躍の先生方と出会えたことです。先生方には、専門知識をご指導いただいたばかりか、人間的にも成長させていだきました。その中でも特に、厳しい中にも優しさをもって指導してくださったゼミの先生に本当に感謝しております。教員採用試験対策講座も担当する先生には、四年間に渡って大変お世話になりました。教材に向かい合う先生の姿勢は、私の憧れであり目標でもあります。今の私では先生の足下にも及びません

海外研修報告

国際政治経済学部
教授 田端克至



二松学舎大学父母会のご支援を頂き、イタリアに研修に行つてまいりました。ご父兄の皆様には大変感謝しております。以下、私の研修の内容を、アレンジして報告いたします。

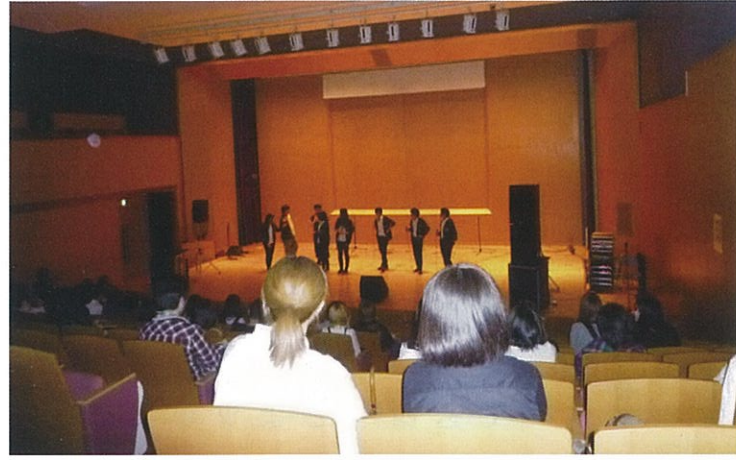
行先は、イタリアのミラノから車で1時間ほどの郊外にあるイストラという辺鄙な村に所在するヨーロッパ共同研究センターです。まだ、9月ではありましたが、日本の11月ごろの気候でして、アルプスの山並みと湖に囲まれた大変綺麗な村でした。ただ、どうしてこんな辺鄙な村にというのが疑問でしたので、宿のおかみさんに自家製ワインを注文しながら、聞いてみました。

「どうして、こんな辺鄙な所に? あんまりいい施設があるの?」もともと、ここに原子力の研究施設と原発を建設する予定だったのよ。だいたいここはミラノから直接乗り入れる鉄道もないような陸の孤島なのよ。ここは、ど田舎なのよ。修道院しかない村なんだから。でも、陸の孤島であることが重要。ここで原子力の研究をするはずだったのよ。でも、当分が外れた。イタリアは原発、やめちゃったでしょ。研究所もいらなくなったのよ。」「それでか。経済の研究してるの。」「今も、原子力の研究、少しやっています。でも、原子力に代わる、

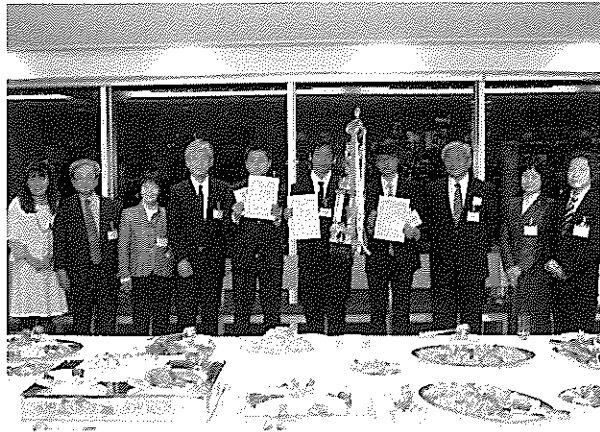
いろいろな分野の研究を始めたんだって。技術者やその家族も含めると、相当の人があそこにはいるのよ。クビにするわけにいかないでしょ。」

実際、この研究所に入る際のチェックは厳重を極めました。まず、ミラノからの途中立ち寄り禁止として禁止。敷地内での写真、他の建物への入場も禁止。参加者は、アメリカを除く世界の経済学者やコンピュータ技術者でして、何をやってたかという、経済や金融が危機に陥る場合、どのようなメカニズムでそれが伝播していくのか。あるいは、それを防ぐことができるのか。最先端の科学技術を利用して、分析しようというのです。この研究、イタリア人とフランス人が世界の先端をリードしていきまして、私と日本人の研究仲間二人は、約1週間にわたって、当方の研究成果を披露し、意見を交換することが目的で参加しました。

この研究のコアにいるのは、ミッシェル教授(フランス)、コンピュータ経済学会会長とマルコ・ラットー教授(ヨーロッパ合同研究所教授)の二名です。その他、常勤の若手研究者が5名ほどいて、彼らと寝食共にしながら、様々な示唆も受けました。ところが、今回、いろいろ意見交換をして分かったことがありますが、根本の根本の所をブラックボックスにしていることです。つまり、この研究を取り入れて深く切り込むほど、最終的には彼らの研究成果に依存せざるをえなくなるというわけです。ですので、アメリカの経済学者は距離を置いて、自分たちで別の似たような発想でこの技術を掘り下げようとしています。日本の場合、まだまだですが、欧米を超える手法を探そうと思えます。



PRISM CRACKER



本年度の国際交流年末懇親会は、左記の日程で開催されました。

日時：平成25年12月7日(土)
17:00～19:00

場所：九段キャンパス1号館
13階ラウンジ

教職員・父母会役員・留学生・学生合わせて約75名が参加し、賑やかな交流の機会となりました。

渡辺和則学長のご挨拶、三輪秀彰父母会長の乾杯の音頭に引き続き、外国人留学生日本語スピーチコンテスト表彰式が行われました。トロフィーや表彰状等を授与された留学生



生は、喜びの表情で先生方と一緒に写真を撮ったり、表彰状を見せ合ったりしていました。その後、交換留学生3名、今年度で卒業・修了予定の留学生3名、国際交流センター長からの挨拶があり、盛況のうちに終了しました。

遠く母国を離れ勉学に努める留学生にとって、先生方や父母会役員の皆様への言葉が何よりも励みになっています。次回もたくさんの方々のご参加をお待ちしています。

平成25年度 国際交流年末懇親会

で、エントリーシートの書き方や面接対策を行ないます。なお、この講座を昨年実施したところ、受講後直ちに内定を得た学生もおり、非常に有効な講座であると確信しております。二月四日(火)全学年対象(昨年の八月に実施した秘書検定講座を受講した学生が対象です。)秘書検定頻出問題解答会。二月五日(水)～七日(金)三年次生対象「就活マナー講座」。二月七日(金)全学年対象「ニュース検定試験」(学内会場受験)二月八日(土)三年次生対象「OB・OGと語ろう!」先輩社会人を囲む男子会・女子会 卒業後、十年以内の若手社会人を招き、男女別々に現在の仕事や社会人としての生き方等についての懇談会を行ないます。二月十日(月)全学年女子学生対象「就活女子力アップセミナー」。学外より講師を招聘して女子学生のための就職活動についてのセミナーを茶話会形式で行ないます。全学年対象です。一、二年次生の女子学生の参加もお待ちしております。二月十二日(水)～十四日(金)三年次生対象「学内合同企業説明会」。本学学生のためだけの合同企業説明会を学内

学生相談室
だより 83
油谷理歌
カウンセラー

新春のお慶びを申し上げます。年末年始は、ご家族で過ごされたでしょうか。ご家族が揃ってもお子さんは友達付き合いに忙しく始ど話をしてくれないということもあるかもしれません。大学生の年代は、親から心理的な自立を果たす時期です。親に対してよそよそしくなったり、自分の考えを主張し反抗的になったりと、急な変化に驚いたり不満を感じることがあると思います。しかし、その過程を学生によく聞いてみると、親から離れていくことへの戸惑い、寂しさ、不安が混在しているのが分かります。それを親に悟られないよう強がりながら家族以外の中で自分の居場所を見つけてようと思

もが自分の力で判断する自信を身につけられるように日頃は近づきすぎず離れすぎず見守り、本当に困った時に手を差し伸べるのが大切なかもしれません。相談室では、お子さんについてご家族からのご相談もお受けしています。お気軽にご相談下さい。

十二月一日に、平成二十七年三月卒業予定者(現三年次生)の就職活動が解禁となり、企業説明会等が各地で開催され始めました。本学でも、キャリアセンターを訪れる三年次生も増え、またリクルートスーツ姿の学生が目立つようになり、いよいよ就職活動が本格的に始まったといったところでしょうか。

一方、就職活動を継続している四年次生も、卒業までの最後の追い込み、という具合に精力的に活動していることと見受けられます。

そうした中、キャリアセンターで年末年始に実施した就職支援行事をご紹介します。

十二月二十四日(火)三年次生対象「企業研究セミナー」。優良企業八十社に参加いただいて、本学学生のためだけの合同企業説明会を、ホテルグランドパレスにおいて開催しました。一月十四日(火)～一月十六日(木)三年次生対象「就職活動用証明写真学内撮影会」。履歴書用の写真撮影会を行いました。一月十四日(火)全学年対象「マスコミ業界志望者必見、就職特別講演会」マスコミ業界の現状や求められる人材像等について、「やじうまプラス」や、「ワイドスクランブル」等でお馴染みのテレビ朝日コメンテーター川村晃司氏(本学客員教授)による講演

キャリアセンターだより

会を開催しました。一月十七日(金)三年次生対象「平成二十五年秋・就活まとめ講座」平成二十五年の秋セメスターで行なってきた就職特別講座の総まとめの講座を実施しました。また同日に「警察官採用ガイダンス」を警視庁をはじめとした関東近県の警察署から人事担当者を招聘し、警察官採用試験についてのガイダンスを行ないました。いずれの行事も多くの学生に参加いただき、盛会のうちに終了することができました。

続いて、今後の支援行事をご紹介します。是非とも多くの学生に参加してもらいたいところですので、ご父母の皆さまからもご指導ください。よろしくお願いいたします。

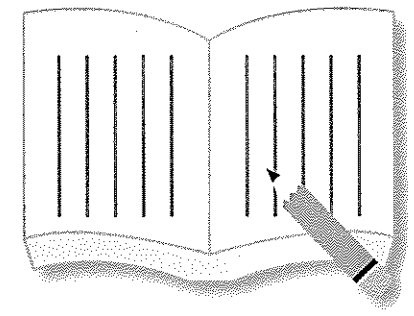
一月二十五日(土)三年次生対象「企業採用担当者による模擬面接会」。各企業の人事担当者による模擬面接をやったいただき、より実践的な指導をしていただきます。二月四日(火)、五日(水)三年次生対象「就職力アップ講座」。就職活動をするうえで、自身の適性等を正しく理解する事は欠かせません。この講座では、専門家による指導を受け、自身の適性等を適切に理解したうえで、エントリーシート

二月二十四日(火)三年次生対象「企業研究セミナー」。優良企業八十社に参加いただいて、本学学生のためだけの合同企業説明会を、ホテルグランドパレスにおいて開催しました。一月十四日(火)～一月十六日(木)三年次生対象「就職活動用証明写真学内撮影会」。履歴書用の写真撮影会を行いました。一月十四日(火)全学年対象「マスコミ業界志望者必見、就職特別講演会」マスコミ業界の現状や求められる人材像等について、「やじうまプラス」や、「ワイドスクランブル」等でお馴染みのテレビ朝日コメンテーター川村晃司氏(本学客員教授)による講演

二月七日(金)全学年対象「ニュース検定試験」(学内会場受験)二月八日(土)三年次生対象「OB・OGと語ろう!」先輩社会人を囲む男子会・女子会 卒業後、十年以内の若手社会人を招き、男女別々に現在の仕事や社会人としての生き方等についての懇談会を行ないます。二月十日(月)全学年女子学生対象「就活女子力アップセミナー」。学外より講師を招聘して女子学生のための就職活動についてのセミナーを茶話会形式で行ないます。全学年対象です。一、二年次生の女子学生の参加もお待ちしております。二月十二日(水)～十四日(金)三年次生対象「学内合同企業説明会」。本学学生のためだけの合同企業説明会を学内

二月二十四日(火)～二月二十八日(土)三年次生対象「就職活動支援セミナー」。就職活動の準備や面接の練習などを行います。また、現四年次生で内定の学生にも引き続き、求人情報の提供、相談等の支援を行なっていきますので、キャリアセンターにご相談ください。お伝えいただければ幸いです。

なお、本文中に挙げた各種行事の詳細につきましては、キャリアセンターまでお問い合わせください。



五井ゼミナール

近代文学①ゼミナールⅠの新年度最初の活動は、「第〇回合同ゼミナール」と称して、四年生と三年生のゼミ生全員が集まって行われます。その場で、ある先輩がアドバイスとして「とにかく走る」と言ったのを、ゼミが始まって一年が経とうとしている今でも覚えていています。

このゼミを受講してから、なにかと足を動かさなければならぬ場面が増えました。他の近代文学ゼミ

ナールよりも多くの作家の作品が課題書として設定されているため、本を探し求めて神保町の古書街を巡ることもしばしばありました。また、定期的に文学散歩として著名な作家の旧跡地を巡るゼミでもあるため、昼から夕方までひたすら歩き続けることもあります。自分の発表が近付けば、急に資料が必要になって授業の合間に国立国会図書館まで足を運ぶこともありま

す。もちろん、木曜の限目に設定されているこのゼミに遅刻しないよう走ることも。

「とにかく走る」と
やはり、それがこのゼミでは重要なのでした。
国文学科三年 小泉 勇斗



押野ゼミナール

私たちが所属している押野ゼミナールは、ドイツ連邦共和国の政治や経済、文化について幅広く学んでいます。人数は18名と少し多い構成人数ですが、ゼミ生皆仲良く学習に取り組んでいます。

押野ゼミでは、ドイツに関連するありとあらゆるものを取り扱っていて、私たちゼミ生は自分たちの興味のある分野について調べ、発表を行っています。レジュメを作成し、他のゼミ

生が質問をしてくることを見越して、事前準備としてしっかりと調べて発表に臨んでいます。発表の後の質疑応答が終わると、先生から指摘や突っ込み、訂正や補足説明が入ります。当初、私たちはレジュメの作成も覚束ない、発表の段取りも上手くいかない状態でしたが、押野先生のアドバイスで、徐々に向上しているように思えます。

当ゼミでは他にも、SPI対策の一環として漢字の「読み」と「書き」のテストを毎回授

業の始めに行っています。最近では、文字を書くことが少なくなっている、漢字が書けない人が増えていると聞きます。二松学舎大学の学生として、そしてこれから社会に出てゆく者として、恥ずかしくない国語力を身につけるべく努力しています。

押野ゼミでは、先生が学生1人1人を気遣って下さるし、体調やスケジュールなども考慮していただけるので、肩肘張ることなく自分のペースで学習することができます。今後



国際政治経済学科三年 今村 凌

ゼミ 探訪

一つの答えを探すような作品の読みから離れ、多様な目線を持つて作品の新たな意味を見つけていく読みのあり方を私に教えてくださったのが、本ゼミを担当なさっている五井信教授です。そのため、常に多様な考え方を求め、学び続けようとする態度が求められるゼミでもあります。一つの見方、考え方に留まっていた私は、一つの場所に腰を下ろして停止していません。今の私は、日々動いています。自分の両足を動かし、新しい目線に立つために移動しているのです。

留学体験記



文学部中国文学科 三年 遙 増田

来ず当時の私は隣国でも日韓では言語が全く違ののだと思っていました。会う度にもっと話せるようになりた

幼い頃、私には韓国人の友人がいました。その友人とは、たまに会う程度の仲でしたが言葉の壁から、なかなか打ち解けることが出

最初の一月は何もかもが初めて経験することだったので、どこで何をすることも緊張しました。それに加え今まで机の上で勉強してきた韓国語と、実際に日常生活で使う韓国語は違う部分が沢山ありました。そのため常に不安だらけでしたが、学校で習ったことを日常生活で使ってみたり韓国文化の中にとけこんでみた

りといった小さな積み重ねが徐々に力になっていきました。伝えたいことを伝えられた満足感や相手の言うことが理解できるようになった喜びが自分の語学力への自信にも繋がっていき、自信は次のアクションを起こす時の原動力になっていきました。

私は元々、控えめな性格なのですが、留学した時は自分自身が驚くほど、物事に取り組み姿勢が変わりました。積極的にになり、好奇心も強くなりました。留学をすることで今まで気付かなかった自分の新たな一面も見ることができました。

私は留学することによって一歩踏み出すことの大切さを学びました。実際に使ってみてわかる語学の楽しさや難しさがあり、経験してみてもてわかる文化があるのだと感じました。韓国での経験は今後に生かしていけるようにしたいと思っています。

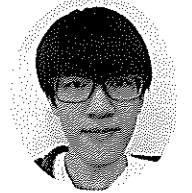
また、豊かな留学生活を送る上で友達や出会った人達の存在は不可欠なものでした。全ての人の出会いが、何にも代えがたい宝物になりました。私に数々のものを与えてくれた韓国とはこれからも繋がりを保持していけるようにしていきたいと思っています。

新しい環境で生活するには、いくつかの問題があります。

まず、日本にいるので、日本語でのコミュニケーションは、当たり前なことですが、私は相手の話を聞き取れないことがたくさんあります。そんな時には慌てても、凹んでも、仕方ありません。自分がまだ日本語をうまく使えないということは、事実だからです。でも、考えようによつては日本にいるからこそ、日本語を練習するチャンスなので、留学している一年の間に、一生懸命に勉強したいと思っています。

一人暮らしなので、何でも自分で

留生活での体験



中国文化大学 涂 智宇

日本に来て、既に四ヶ月経ちました。こんな長い間に家に帰らないのは、人生で初めてです。私にとって、家に帰れないことは、大変辛いことで、

何度も何度も帰りたいと泣きそうになりました。しかし、これは自分にとつても成長のチャンスなので、この一年間は頑張りたいと思っています。

生活は大変ですが、いろいろな面白いこともありました。例えば、先日、二松学舎大学附属柏高生との交流会があり、その交流会に参加するために、人生で初めてスーツを着ました。武永先生主催の中国語朗読大会に審査員として参加した時には、皆さんが一生懸命に文章を読む姿にとても感動しました。日本に留学している、台湾のクラスメートと都内の名所にも行きました。秋葉原や原宿など、いつもテレビの中で見られないところも見に行きました。これらの経験は本当に日本にいるからこそ体験できることだと思います。

この機会を私に与えてくれたのは、二松学舎大学と中国文化大学です。本当にありがとうございます。この一年間、頑張ります。

派遣留学生の声

平成二十四年度派遣留学生として、韓国の成均館大学に派遣された増田遙さんに留学生生活の思い出、また平成二十五年度交換留学生として台湾の涂智宇さんから日本での大学生活について綴っていただきました。

大学の講義を受講してみませんか

二松学舎大学には、科目等履修生制度があり、大学の授業を広く一般の皆様にご利用しています。科目等履修生制度とは、大学で開講している授業科目(一々数科目)を学生と一緒に受講し単位も取得できる制度です。

本学学生のご父母の皆様は、生涯教育の一環として一人でも多く大学の授業を受けて頂きたいとの趣旨から、登録料の免除、科目等履修料の減額

措置を講じております。この機会に、是非お子さんと一緒に大学の授業を受けられることをお勧め致します。内容は、次の通りです。

■公開科目
学部・大学院で開講している授業科目のうち、原則として演習科目を除く授業科目を公開いたします。

■募集要項
平成二十六年度の募集要項についてのお問い合わせは、二月になりましてからお願いします。



■授業料
一科目 通年科目 三万円
半期科目 一万五千元

■問い合わせ先
二松学舎大学教務課

卒業パーティーの開催について

【会場】

帝国ホテル

本館二階「孔雀東の間」

〒100-0185 五反田

東京都千代田区内幸町

一―一―

地下鉄日比谷駅下車

徒歩三分

【次第】

一. 開会

二. 挨拶

三. 乾杯

四. 歓談・ゼミ写真撮影

五. 閉会

○歓談の時間を利用して、ゼミ毎の集合写真撮影を設けています。時間に制約がありますので、あらかじめ撮影順番を決めております。ご協力ください。

○卒業生の皆さんには「リボン」を必ず着用していただきます。「リボン」は卒業式当日配布します。



編集後記

明けましておめでとうございます。昨年、二松学舎大学は新たな新校舎、九段四号館(仮称)建築の着工が決定されました。

平成二十六年十二月が完成の予定です。とても楽しみです。

また、招致応援のかいもありまして、2020年東京オリンピック開催も決定致しましたね。

十一月に行われた創縁祭も沢山の方々に足を運んで頂き、父母会主催のお・も・て・な・しの無料喫茶では、お客様達に楽しい歓談の場になられたかと思えます。

これからの父母会役員は、帝国ホテルで開催する「卒業パーティー」で多忙となりますが、今年は三月十九日ではなく、三月十七日孔雀東の間の変更にあたりお知らせします。大変申し訳ありませんが、お間違えのない様に宜しくお願い致します。

昨年は江戸川乱歩賞・日本ファンタジーノベル大賞を本学卒業生二名が受賞され、大変素晴らしい快挙だと思えました。

これから卒業される学生達は、今まで習ってきた事、社会に出てすべき事を大切に、胸を張って頑張ってください。父母会役員一同、皆様の活躍を心より応援しています。